

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年2月16日

## 【評価実施概要】

事業所番号	1291200093		
法人名	株式会社 相 善		
事業所名	グループホーム あじさい		
所在地	千葉県松戸市五香西5-3-14 (電話)047-311-2666		
評価機関名	NPO法人ヒューマン・ネットワーク		
所在地	千葉県船橋市丸山2丁目10番15号		
訪問調査日	平成21年 2月 5日	評価確定日	平成21年2月26日

【情報提供票より】(平成21年1月15日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成19年 1月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤12人, 非常勤2人,	常勤換算12.5人

## (2) 建物概要

建物構造	RC 造り		
	3階建ての	3階部分	

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	70,000 円	その他の経費(月額)	25,000 円	
敷 金	有( 円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(300,000円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	350 円	昼食	600 円
	夕食	650 円	おやつ	円
	または1日当たり 1,600 円			

## (4) 利用者の概要(12月30日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	4	要介護2	6		
要介護3	3	要介護4	2		
要介護5	2	要支援2	1		
年齢	平均 85.2 歳	最低	72 歳	最高	98 歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	松戸外科内科クリニック、八柱歯科
---------	------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

明るく綺麗で設備の行き届いた建物(1,2階は有料老人ホーム)の3階にある。見晴らしも良く広がりピングには和室もありベランダで季節の花を育てる等快適な住まい環境である。クリニックが併設されており健康面でも安心である。一人ひとり違う個人が地域の中で「自由」だからこそ「自立」した生活をしていけるようにとの想いを込め職員全員で掲げた『18人18色』との理念を日々のサービス提供で実践している。決められた日課はなく本人の自己決定を重視し無理強いはせず利用者の自立を支援している。全ての職員が明るく生き生きとして利用者と共に過ごしている姿が印象的であった。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	5項目の改善課題の中、地域とのつきい:地域の清掃活動に参加家族への報告:あじさい便りを毎月作成送付 職員の育成:外部研修受講と伝達研修の実施 終末期に向けた方針の共有:看取りに関する指針を作り看取り同意書を取得と4項目に取り組み改善がなされている。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 昨年の外部評価を受け多くの「気付き」があった。自己評価で1年間を振り返ることの大切さやグループホームの目指すところ・あるべき姿などの「気付き」を得る為にも管理者が中心となり職員全員に回覧し自己評価に取り組んだ。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	利用者家族・地域包括支援センターの参加を得て、外部評価結果報告・あじさいの理念とサービス提供状況・今後の予定などを議題として年4回開催した。一度はホームパーティーも兼ねて実施した。家族の方から認知症の勉強会をしてほしいなど色々な意見を頂いており、今後活かすように取り組み始めている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	毎日、誰かの家族が必ず面会に来ている言う。ホームには来易く、話し易い雰囲気作りは出来ている。面会時には家族のお話を良く聴き、些細なことも大切に受け止め、職員で話し合い対応すべきことは直ぐ対応している。ホームパーティー時には家族から多くの意見を出していただき、ケアサービスや運営に反映するようにしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	五香西町会に加入し各種の行事によく参加している。昨年から新たにクリーンデイを設け、近隣地区の清掃活動にも参加している。散歩時に畑農家から野菜や花を頂くこともよくある。ホームの夏祭りに近隣の牧の原・常盤平地区からも参加していただくなど、十分とはいえないが地域との双方向の交流に努めている。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	一人ひとり違う個人が、夫々違う色で輝き、一輪の「紫陽花」になるようにとの思いから『18人18色』との理念を掲げている。地域の中で「自由」だからこそ「自立」した生活をしていただけるようにとの主旨が良く伝わる判り易い理念である。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員が全員で作上げた理念であり、全職員が理念の主旨を良く理解共有している。常にこの理念に相応しいケアサービスができているかどうかを話し合い、理念の実践に努めていることは評価に値する。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	五香西町会に加入し各種の行事によく参加している。昨年から新たにクリーンデイを設け、近隣地区の清掃活動にも参加している。散歩時に畑農家から野菜や花を頂くこともよくある。ホームの夏祭りに近隣の牧の原・常盤平地区からも参加していただくなど地域との双方向の交流に努めている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年外部評価を受け多くの「気付き」があったとのことである。指摘を真摯に受止め、地域の清掃活動への参加・ホーム便りの作成送付・外部研修受講と伝達研修実施・看取りに関する指針と同意取得を実現するなど評価を改善に活かしていることを高く評価したい。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>利用者家族・地域包括支援センターの参加を得て、外部評価結果報告・あじさいの理念とサービス提供状況・今後の予定などを議題として年4回開催した。家族の方から認知症の勉強会をしてほしいなど色々な意見を頂いており今後活かすよう取組み始めている。</p>		<p>回を重ねるにつれ多少行き詰まりも感じているとのことである。参加者から出た意見で実施したことを次回報告するなど双方向関係を構築すると共に、地区民生委員や町会役員などに参加を呼びかけ、地域の支援を得る機会とすることも期待したい。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>松戸市の施設「ふれあい22」で行われる『歌のおもちゃ箱』に月に一度利用者を連れて行く。施設の中にある地域包括支援センターに必ず顔を出し色々と報告や相談をしている。市役所から紹介されて入所見学に何人かの方が来ている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>「あじさい便り」として個々の利用者毎に数枚の写真とホーム内での様子を手書きで毎月送っている。変化の生じた時は管理者が電話連絡をしている。個々に合わせてタイムリーに連絡をしている。金銭管理は個々に対応し、家族に必ず報告するようにしている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>毎日、誰かの家族が必ず面会に来ている。面会時には、家族のお話を良く聴き些細なことを大切に受止め、職員で話し合い対応すべきことは直ぐ対応している。ホームパーティーを兼ねて運営推進会議を実施し、多くの意見を出していただいている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>新入職員には日課を決めず、ただリビングに座って、一緒に居ることが自然になるようにし、利用者のダメージを防ぐようにしている。その間に利用者個々をよく観察して徐々にコミュニケーションを培っていくよう配慮している。因みにこの一年間、出産などの寿退社以外の異動は0であった。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の自主性を尊重し、良い点を伸ばす育成方針を実践している。現場でのOJTを中心とし、職員個々の能力に応じて外部研修を受講させ、研修報告書で伝達研修をして全員のスキルアップに役立てている。全職員が生き生きと明るく利用者にサービスを提供している姿が大変印象に残った。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>千葉県グループホーム協議会に加入しているが、ほとんど活用できていない。外部研修に出席した職員は他のグループホームの職員と積極的に会話をし、色々な情報交換をしている。</p>		<p>管理者は、来年度から松戸市グループホーム協議会に加入することにしたとのことである。管理者も含め職員同士の交流を図ると共に相互見学などを通して、自ら提供しているサービスに自信を持つと共に更なる向上に役立てることを期待したい。</p>
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>最長10日までの体験入居は出来る。必ず本人にホームに来て見ていただく。特に入居後1週間～1ヶ月は些細なことでもケア記録に全て記入・共有し、事前に聞いた情報と異なることについては直ぐ家族と連絡を取り相談し、対応する等、リロケーションダメージの期間を少しでも短くするよう工夫している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>おせち料理や編物を習ったりと利用者に教えていただくことが多くある。味付けで他の利用者に叱られた時など、大丈夫よ私がしてあげるからと慰められたこともある。全職員が介護する人ではなく、皆家族であるとの意識を持ち、共に過ごすようにしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居前の面接時に、本人・家族の思い、心身の状態、生活歴など基本情報についてセンター方式を活用し綿密に記録されている。聞き取り調査で把握しきれなかった点については、日々の生活の場面場面から把握するよう努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>センター方式を活用して、スタッフが一週間じっくり観察・記録した24時間生活変化シートを基に介護支援専門員がケアプラン導入シートに落とし込み介護計画案を作成し、これをケアカンファレンスにかけるという全員参加型の作成プロセスは評価に値する。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>基本的に見直し期間を3ヶ月と設定している。実際には月例のケアカンファレンスで、個々の変化とケアのあり方を検討する中でより短期間での新たな計画を作成している。定例のモニタリング見直しの狭間でも著しい変化があれば、ミニ・カンファレンスで緊急対応するなど柔軟な取り組みをしている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>クリニックが併設されているメリットを最大限に活用して医療連携に努め、緊急時の受け入れ可能な医療機関、訪問診療してもらえる歯科など協力体制が確立している。また、併設施設の地域交流スペース、カラオケルームや特殊浴槽の使用など入居者の状況や希望に沿って対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時に十分な説明と同意の上で、併設クリニックの医師がかかりつけ医になっており月2回の往診がある。精神科など入居前からのかかりつけ医の場合も継続して受診の支援を行っている。受診結果については、家族と情報共有に努めている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	基本的な考え方から具体的な対応までをまとめた「看取りの指針」を契約時に説明して同意を得ている。職員側も終末期に起こり得る状況などを話し合ったり、医療機関とも密に連携をとっている。なお、家族は契約時に同意はしたものの思いは常に揺れ動くものであることから現実に事例が発生した場合には改めて家族と話し合い最終的な意思を確認するなど慎重かつ周到な準備をしている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人の尊厳やプライバシーを損ねるような言葉かけや対応については、定例のカンファレンスの中で配慮するよう周知徹底に努めている。記録物は、文書は厳重に保管されているのは勿論のことパソコン内の情報もパスワードにより制限管理されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一般家庭と同じように食事時間以外は、決められた日課というものはなく、押し付けや時間に追われることもなくのんびり過ごしている。食事も2,3時間かける方がいたり、就寝が真夜中近くになる方には軽食を出すなど一人ひとりの生活リズムに合わせて職員が動いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は、その日その日に職員と入居者が共に考え、買い物から調理・配膳・後片付けまで一緒に行っている。施設の畑でとれた旬の野菜を使った季節感のある料理を皆でテーブルを囲む光景はアットホームな雰囲気に溢れている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	重要事項説明書には2日に1回と記されているが、毎日入浴される方もあり時間も深夜帯を除き基本的に制限せず一人ひとりが気持ちよく入浴できるよう支援している。入浴拒否の方には、上手に声かけして誘導するなどその人に合った対応を心がけている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の生活歴や経験から個々の方に応じた役割を見つけ自信を持てるよう支援している。習字の師範だった方には掲示する告知文を書いてもらい、編み物の得意な方には掃除道具を作ってもらい、カフェを経営された方にはカラフルな盛り付けを頼んだりと昔とった杵柄を通じた場面づくりをさりげなく演出している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	出来るだけ希望に沿って近隣の公園や田舎道への散歩に出かけている。食材買いを兼ねたスーパーなどへの買い物にはメンバーは変わるものの毎日出かけている。たまにはグループで外食や喫茶あるいは映画を観に行くこともある。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は、玄関施錠の弊害を理解して夜間以外は施錠はしていない。そのため職員は、入居者一人ひとりの外出の癖や傾向の把握には力を入れている。過去に入居者が無断外出し行方不明になったが幸い近隣の住民に連れ帰ってもらった例もあり、管理者は万一の際の近隣住民の見守り・声かけ・連絡などの協力関係を働きかけたい意向を持っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時の緊急連絡網や職員の役割分担なども整備され、定期的な避難訓練も消防署の協力を得て実施されている。昨年の評価時には災害用備蓄品が不備であったが、整備されている。	○	非常災害時における地域との連携や協力関係を築いておくことは大変重要である。今後、運営推進会議を活用したり、消防署の助言を得ながら地元町会との相互協力関係づくりへの取り組みを期待したい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事量・水分量は、入居者ごとに健康チェック表に記録し体調管理に留意している。栄養バランスについては、介護日誌に記録されている毎日のメニュー（食材）を見ながら偏りのないよう配慮している。また、人によってメニューや形状を変えるなど個々の状態に応じた支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングや明るい廊下にもソファが置かれ思い思いの場所で過ごせるよう工夫されている。コンクリートで殺風景になりがちなベランダにもプランターを置き、色とりどりの季節感あふれる花が植えられて入居者の目を楽しませてくれる。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	クローゼットのみ備え付けで他の空間には馴染みの家具などを持参するよう働きかけをしている。ベッドか布団かを希望に合わせて選択できるようにしている。また、最近に入居前の訪問調査に重点を置き部屋の見取り図を書き写しホームでも自宅での状態に近づける取り組みを始めている。		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。